

ITN	ITN比較	各国のレイティング	全般的な競技レベル	サーブ	リターン	ベースラインゲーム	アプローチ/ネットプレイ	ネットプレーヤーをパスする
1	エリート		<ul style="list-style-type: none"> ATP/WTAランキングの保持者、または可能性のある者 国際水準のトーナメントに参加し、主たる収入がトーナメントの賞金であるワールドクラスのプレーヤー 大規模なプロトーナメントの経験がある 					
2			<ul style="list-style-type: none"> 相手の弱点を分析し、見抜くことができる 戦略とプレースタイルを変化させ、プレッシャーの在る状況で自信を持ったショットが打てる。 通常、その国の上位ランキング者 	<ul style="list-style-type: none"> 1stと2ndサーブがプレッシャーのある状況で打て、いつでも攻撃的に打てる。 	<ul style="list-style-type: none"> フォア、バック両サイドの予測力がついている。 相手の準備動作、トス、バック・スイング、身体の位置から手がかりをつかめる。 	<ul style="list-style-type: none"> プレッシャーのある状況で自身のあるショットが打てる。 フォアハンド、バックハンドで攻撃、逆襲防御を効果的にできる。 あらゆる種類のショットをプレーできる。 	<ul style="list-style-type: none"> スライス、またはドライブのアプローチができる。 ネットでの予測がよく、コートセンスがよい。 効果的にアングルを使い、あるいは深くプレーできる。 攻撃的なボレーができる。 スマッシュは、必ずウイナーである。 バックハンドオーバーヘッドスマッシュが強力。 	<ul style="list-style-type: none"> 両サイド、そしてサーブのリターンでその場に応じて、上手くパスする。 2ショット・パッシング・コンビネーションを効果的に使える。
3	上級者		<ul style="list-style-type: none"> 優れたショットの予測と優れたショットを有し、安定性、あるいはゲームの基本となる特質を持っている。 プレーヤーは、'試合巧者'、つまり、パーセンテージテニスをし、サーブ・リターンエースを必要ときに打て、あるいは、ショートボールでサーブ・リターンのエラーを引き出せる。 	<ul style="list-style-type: none"> サーブは、相手の弱点に打たれ、あるいは、攻撃的な状況に展開するために、効果的に打たれる。 信頼できるサーブの種類を持つ。 十分な深さ、スピン、そしてプレースメントで弱いリターンを攻め、あるいは、次のショットを組み立てるための2ndサーブを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 攻撃的そして、オフ・ベースなサーブ・リターンを、コントロールでき、深く、スピンを混ぜて打てる。 	<ul style="list-style-type: none"> フォアハンド・ストロークは、コントロール、深さ、スピンを伴い、強力。 攻撃的な状況を作り出すためにフォアハンド・ストロークを使う。 安定した攻撃ショットとしてバックハンド・ストロークを使う。 ほとんどのショットが十分な深さと、方向を持つ。 タッチショットを習得している。 スピンの種類がある。 	<ul style="list-style-type: none"> アプローチショットは、ベースと高い有効性をもって放たれる。 ほとんどのボレーは、深さとベースと方向性を持って打球される。 深い、難しいボレーをプレーできる。 チャンスがあれば、ボレーは、ウイナーとして打球される。 スマッシュは、どこからでも打てる。 安定性のあるミッドコートボレーを打球できる。 	<ul style="list-style-type: none"> パッシング・ショットが安定し、ベースと高い有効性を持って、パッシング・ショットを打てる。 攻撃的なロブが打てる。
4			<ul style="list-style-type: none"> 安定したプレーで、効果的に加速、スピンをかけ、ベース配分ができる。 優れた予測、正しいフットワークができ、弱点をよく、カバーできる。 ショットの深さをコントロールでき、相手に応じゲーム・プランを変化させれる。 難しいショットに対して、不確かであるが、1stサーブのパワーと正確性と2ndサーブのコースを打ち分けれる。 ダブルスにおいて、攻撃的なプレーができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 攻撃的なサーブを持ち、ダブル・フォールが少ない。 特に1stサーブのとき、攻撃的な組み立てをするために、パワーとスピン・サーブを効果的に使える。 2ndサーブがよい位置に深く打つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 頻繁に攻撃的なリターンができる。 ダブルスにおいて、普通にベース変えることができる。 チップとドライブができ、チップとチャージができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 非常に安定した(自信ある)フォアハンドストロークを持つ。 スピードとスピンを効果的に使う。 深さのコントロールはあるが、あわてたり、プレッシャーがかかると、オーバーヒットする。 中程度のショットでは攻撃的。 バックハンドは、方向と深さをコントロールできるが、プレッシャーを受けると崩れる。 かなりスライスができる。 	<ul style="list-style-type: none"> アプローチショットは、深く、コントロールされ、打球される。 一連の混じったボレーを扱える。 バックハンドボレーで、深さがあり、方向のコントロールが良い。 ポイントを決めるためにボレーとスマッシュを安定して打球できる。 タッチショットを習得し、フットワークに優れる。だが、最も一般的なエラーは、オーバー・ヒッティング。 	<ul style="list-style-type: none"> 防御的、そして攻撃的なロブを打てる。 かなり高い確率でネットプレーヤーをパスできる。
5			<ul style="list-style-type: none"> 優れた安定性(確かなグラウンド・ストローク)、普通のショットでフォアハンド、バックハンド両サイドの方向と距離のコントロールができるが、ラリーは、我慢できなくてミスする。 ロブ、スマッシュ、アプローチショット、ボレーが使え、時々、成功する。 コートカバリングを習得中で経験をつみ、戦術に注意を払うが、まだ優れたパーセンテージテニスをプレーできない。 時々、サーブのとき、サーブ・リターンのエラーを引き出せる。 ダブルスのチームワークが理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1stと2ndサーブのプレースメントがよい。 1stサーブが、しばしばパワーである。 スピンを時折、使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 信頼できるサーブ・リターンができる。 シングルで、深いリターン、ダブルスでいろいろなターンができる。 	<ul style="list-style-type: none"> フォアハンド・ストロークは、安定し、中程度のショットは深さとコントロールできるが、プレッシャーのあるとき、コースの配分ができない。 バックハンド・ストロークは、中程度のスピードで安定して、ボールの方向性がいい。 スピンを習得し、トップスピンとスライス両方を打てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ネットへ攻撃的なショットで前進する。 フォアハンド・ボレーの深さとコントロールがある。 バックハンド・ボレーの方向はいいが、一般的に深さを欠く。 両サイドのワイドのボレーと低いボレーを打球できるように習得中。 簡単なスマッシュを処理できる。 ダブルスのボレーができる。 ポイントを決め始める。 相手の弱点に打球する。 	<ul style="list-style-type: none"> 難しいショットに対し、防御的なロブを打ち、攻撃的なポイントの組み立てを行う。
6	中級者		<ul style="list-style-type: none"> 普通のショットの方向コントロールの安定性を持った、改良されたストロークを習得中だが深さと、変化がまだコントロールできない。 コートカバーが上達しているが、前に出る時、まだためらいがある。 ダブルスのチームワークを習得中。 	<ul style="list-style-type: none"> コントロール・サーブと、しばしばパワーサーブを開始。 スピンを習得中。 	<ul style="list-style-type: none"> 中程度のベースで方向性のコントロールのある安定したサーブ・リターンができる。 	<ul style="list-style-type: none"> フォアハンド・ストロークは、極めて安定、中程度のショットで変化をつけ、方向性良く、スピンをプレーできる。 バックハンドは、中程度のショットで方向のコントロールをもって打球されるが、高く、そしてハードショットに対して、難があり、防御的な返球となる。 バックハンド・ドライブかスライスの一方を極端に使う。 	<ul style="list-style-type: none"> アプローチショットを習得し、ネットに出るチャンスを探し始める。 より攻撃的なネットプレー。 フォアハンド・ボレーの方向性を持ち、バックハンドボレーのコントロールはできるが、攻撃的でないボレーでポイントを決め、ハーフボレーをプレーすることは難しい。 パッシングショットは少しカバーでき、かなりのフットワークができる。 届く範囲の安定したスマッシュ。 	<ul style="list-style-type: none"> 速いベースのショットで、かなり安定したロブを打てる。 基本的なパッシングショット能力を習得するが、バックハンドのパスが難しい。

ITN	ITN 比較	各国のレイティング	全般的な競技レベル	サーブ	リターン	ベースラインゲーム	アプローチ/ネットプレイ	ネットプレーヤーをパスする	
7	中級者		<ul style="list-style-type: none"> 普通のベースのショットにかなりの安定性をもつが、全てのショットをうまくプレーできず、方向性、深さ、パワーのコントロールを欠く。 シングルス試合は、ベースライン主体に行い、最も一般的なダブルスのフォーメーションは、一人が後衛、他の一人が前衛。 	<ul style="list-style-type: none"> リズムを習得中だが、パワー・サーブのとき、不安定。 2ndサーブは、1stサーブよりもかなり遅い。 	<ul style="list-style-type: none"> かなりの安定性を持って大部分がコート中央にリターンできる。 	<ul style="list-style-type: none"> フォアハンドは、方向性に集中し、かなりの安定性を持つが、深さのコントロールに乏しい。 バックハンドは、中程度のショットでかなり安定性し始め、多くのボールがコート中央に方向つけられる。 	<ul style="list-style-type: none"> プレーが要求するとき、ネットにアプローチするがそれを実行するために習得が必要。 安定したフォアハンドボレーを持つが、バックハンドボレーの安定性を欠く。 ローボレー、ワイドボレーが難しい。 時々、ポジションから外れ、大きすぎるスイングをしてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 中程度のショットでかなり安定したロブを打ち、ドライブの代わりにサービス・リターンにロブを使う。 	
8	レクリエーショナルプレーヤー		<ul style="list-style-type: none"> ボールがどこに飛ぶか判断することを学ぶが、コートカバリングは、まだかなり習熟する必要。 同じレベルのプレーヤーとプレーするとき、このプレーヤーは、かなりの安定性を持って、スローベースのショットラリーができる。 ダブルスのとき、初歩的なダブルスのポジションを維持できる。 	<ul style="list-style-type: none"> フルスイングを試みる。 1st、2ndサーブのベースの違いがほとんどない。 スローベースでボールをインプレーできる。 安定したトスが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> スローベースのサーブに対しリターンができる 短いフォロースルーが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> フォアハンドのフォームが上達する。 プレーヤーは、中程度のベースのショットに対し、構えられ、準備される。 バックハンドグリップと準備の問題が、明らかで、プレーヤーは、バックハンド・ストロークよりもフォアハンド・ストロークを好んで選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に迫られたときだけ、ネットにアプローチする ある程度の自信を得るためにネット練習の時間が必要。 特にバックハンドサイドのネットでの自信がなく、バックハンドボレーをプレーするとき、ラケット面のフォアハンドサイドを使ってしまう。 スマッシュのコンタクトができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ロブを習得始めるが、コントロールに乏しい。 相手のバックサイドにだけロブを打つ傾向がある。 	
9	レクリエーショナルプレーヤー		<ul style="list-style-type: none"> コート上での経験が必要。 ストロークは、時々、成功するが、ストローク力の弱さは、明らか。 シングルス、ダブルスのプレーで、基本的なポジションは取れるが、さらによりポジションをとる必要があり、まだ、ベースラインでのプレーを好む。 このプレーヤーは、試合のプレーに没頭する。 基本的なルールとスコアのつけ方を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> サービスの動作が滑らかでなく、さらにコーディネーションが必要。 頻繁にダブルフォルトをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 無駄なエラーを減らすために安定したサービスが必要。 フォアハンド・ストロークでリターン、大部分を行おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> フォアハンドは、より完璧なスイングとより方向性への集中を必要とする。 バックハンドでプレーすることを避け、バックハンドサイドの技術的な問題(例、グリップ、スイング、コンタクト)を経験する。 	<ul style="list-style-type: none"> アプローチショットとネットプレーに慣れていない もっぱらフォアハンドボレーに専念し、スマッシュコンタクトに問題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 初めてロブを打つのが難しい。 パスに慣れていなく、相手の正面に向かってボールを打ってしまう。 	
10			<ul style="list-style-type: none"> このプレーヤーは、正式な大きさのコートで、ITF公認のボールを使用して、競技としてのプレー(サーブとリターン、ラリー)ができるようになる。 						
10.1			プレーヤーは、動き、コントロールしてラリーができる。	ITN10.1からITN10.3までのカテゴリーは、通常緩和された環境、つまり、小さいコートでやわらかいボールを使用する、あるいは適切な、プレーヤーに合ったラケットを使用する環境でプレーすることを含む。					
10.2	初心者	プレーヤーは、来たボールに対して、きちんと打球しながら、簡単なテニスのスキルを行えるが、動きと、コントロールしてラリーはまだできない。							
10.3		プレーヤーは、テニススキルの育成の初期段階で、単純なテニスのコーディネーション/エキササイズを初めて学ぶ。							